

2018（平成 30）年度における主な学事・行事

月・日	主な学事・行事等
4月 2日	現職教員説明会
4月 4日	入学式、新入生オリエンテーション
4月 4日	履修説明会、課題研究・創成研修グループ顔合わせ、 学卒2年による授業科目説明会、進路指導説明会
4月 9日	春学期授業開始
4月12日	共通講義①「課題研究の進め方」
4月26日	運営会議
5月10日	共通課題交流①「師を語る～生き方に影響を与えた人」
5月19日	大学院説明会
5月24日	運営会議
5月30日他	学校フィールドワーク（グループ内の研修校等）
6月 7日	共通講義② 資料探索、課題設定他
6月28日	運営会議
7月5・12日	課題研究グループ別集中検討会（グループ単位による）
7月19日	共通課題交流②「創成実践記録」
7月21日	教職大学院同窓会フォーラム（第4回）
7月26日	カリキュラム評価、
7月26日	運営会議
7月28日	大学院説明会（第2回・教職大学院）
7月30日	春学期授業終了
9月	10日間連続実習
9月27日	運営会議
10月 2日	秋学期授業開始
10月11日	課題研究中間報告会①（ポスター発表）
10月25日	運営会議
10月27日～28日	大学院入試A日程
11月22日	運営会議
12月 6日	課題研究中間報告会②（ポスター発表）
12月 8日	教職大学院協会フォーラム
12月 9日	教職大学院協会シンポジウム・ポスターセッション
12月20日	運営会議
12月27日	年末年始休業前授業終了
12月	創成研修終了（1月終了も可）
1月 7日	年末年始休業後授業再開
1月24日	運営会議
1月31日	共通課題交流③「学卒1年研修報告」、カリキュラム評価
2月11日	秋学期授業終了
2月12日	課題研究グループ別発表会
2月16日	大学院入試B日程
2月17日	教職大学院同窓会総会（第5回）・10周年記念企画
2月28日	運営会議
3月 4日	課題研究成果報告会
3月 5日	教職大学院運営協議会
3月19日	運営会議
3月20日	学位記授与式、「巣立ちの会」

2018（平成 30）年度 課題研究題目一覧

【現職院生】

伊藤 穂波	メンターリーダーの学びを促進するメンターチーム研修の在り方 —メンターリーダーへのインタビュー調査を通して—
小原 善仁	ミドルリーダーから管理職への移行期における教員の管理職志向の要因分析 —副校長を対象としたアンケート調査を通して—
木村 嘉延	生徒指導における教員の状況判断と行動 —OODA ループと模倣—
石井 由紀	創造的な読みの力を育成するための指導の工夫 —中学校国語科におけるメディアの活用—
大竹 秀明	公立高等学校におけるカリキュラム・マネジメント推進に向けた教育委員会による支援策について
大塚 和男	ICT 機器を活用した学校改善方策について —教育の情報化の推進の観点から—
岡田江奈実	校内での若手教員育成の方法とその効果の検証 —総合的な学習の時間におけるルーブリックを用いた評価を活用したパンフレット作成を通して—
鴨須賀悠也	教師の自尊感情を高める意識が児童に与える影響についての研究
木之下理紗	国際バカロレア コア科目 Theory of Knowledge の趣旨を踏まえた授業の可能性 —新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の観点から—
齊藤 敦	学校経営ビジョンの実現に向けた学校改善を促す学校組織マネジメントの要因分析 —ミッション・マネジメントの要素を視座とした学校分析を通して—
齊藤 慎一	体育学習（ゲーム領域）における社会性の育成に関する一考察 —社会性とゲーム観の関係に着目して—
瀬川 正俊	小学校理科指導から始める授業支援方法の構築
館野 峻	地域とともに学びのコミュニティをつくる学校・生涯学習社会の一員としての教職員の在り方 —立場を越えた他者との対話の場の開発と実践を通して—
新国 寛子	学校問題を未然に防ぐための保護者との関係づくり —保護者の願い・子供の願いに着目して—
萩原 農	教員の授業力向上に向けた O J T の在り方 —学年会を活用した授業リフレクションプログラムの開発とその可能性—
橋本 千里	児童の分かり方の特性を生かした授業分析フィードバックの効果と活用
濱田 昌也	学校評価と関連付けた授業改善システムの構築 —管理職の「授業観察の視点」を軸とした人材育成—
細田 梨絵	「主体的・対話的な学び」を「深い学び」に到達させる指導と評価の一体化 —対話場面における形成的評価を通して—
三羽 聡明	児童が探究する算数科授業の要因へのナラティブ・アプローチ —若手教員育成への「語り」の応用可能性—
八島 容子	教師の学習者としての経験が授業に与える影響についての考察
綿貫 俊之	高等学校における自己の向上のための e ポートフォリオ活用に関する研究

【学卒院生】

池田健太郎	情報活用能力の育成に向けた資料の取り扱いについて —中学校社会科の視点から—
伊東 美菜	道徳的価値を「自分事」として考える道徳授業の在り方の追求 —児童の実態を生かした手立てをもとに—

井上 歩南	子どもの人間関係づくりにおける集団遊びの有効性を探る研究 —めあてと振り返りを伴う意図的な集団遊びの実践を通して—
植野 泰廣	社会形成力育成を目指した歴史分野の実践研究 —「市民社会科」の授業理論を活用して—
老子 卓治	思考が深まる対話的な授業に関する研究 —数学科の授業における表現する過程に着目して—
大曾根 彬	中学校理科における思考を促すワークシートを活用した考察指導についての検討
河野 利枝	家庭科における製作進度の差を小さくする学習指導案の提案 —教師の指導上の要因分析から—
河野 新汰	生徒の保健学習への意欲を高め、主体的な学びに繋げる授業づくり —高等学校保健学習に着目して—
小浦 真史	物理学における概念形成のための言語化に関する研究
小別當アキヨ	中学校通常の学級における特別な配慮を必要とする生徒の支援の在り方 —学級担任の校内での連携に関するインタビュー調査を通して—
酒井 峻	思考力を高めるための質問作りを活かしたプロジェクト学習の有効性の検討 —小学校6学年社会科歴史分野の授業実践を基に—
佐藤 桂輔	高等学校数学科における問題解決力の育成を目指した授業 —ナラティブ的探究を通して—
塩野谷涼馬	日本史学習における教師の指導方法が生徒の問い生成に与える影響
下田 啓太	高等学校教育改革に向けた観点別学習状況の評価に関する提案
菅 悠太朗	学級活動における話し合いに関する分析 —ビースタの「主体化」の理論を用いて—
鈴木 悠太	多面的・多角的な思考を生かした道徳授業の在り方 —児童の学び方や意欲の特徴をふまえた方策づくりを通して—
高野 あみ	対話型模擬授業検討会における「語られ方」の変容
田中 旭	付箋による可視化が話し合い活動に与える影響 —中学歴史分野の実践研究を通して—
田中真里奈	中学生の主体性の向上と過剰適応傾向の抑制について —校内美化活動の実践を手がかりに—
田中 遼	高等学校理科授業における学ぶ意義が変容する過程に関する一考察 —学習履歴表の分析を通して—
遠山 友輝	理科の授業において子供たちが自ら問いを見出す指導法の研究 —目的を持った自由な試行活動の実施を通して—
長屋 聖慰	理科における生徒の自律的な科学的探究活動を支える教師の手立てに関する研究 —「探究の技能」を軸とした「生徒の見取り」と「譲り渡し」に着目して—
橋本 怜奈	高校生の自己受容・他者受容の傾向とそれを生かした授業実践
道端 優侍	エスノグラフィーを通してインクルーシブの内実を探る —参与観察者として交流及び共同学習の在り方に着目して—
百瀬 雅治	高等学校公民科における生徒の意思決定を目指した主権者教育の実践 —多面的・多角的な考察に着目して—
森島 一貴	生徒が数学を学ぶ意義を感じられる授業づくり —「問題づくり」を通して—
安原 求	「文章を書くこと」における難しさの所在と個に応じた指導の手立て —小学4年生に対する作文指導の実践を通して—
大和 啓介	国語科の話し合いにおける多様な聞き方に関する分析 —学習者の「沈黙」の時間に着目して—
良永 陽亮	児童一人ひとりに自尊感情をもたせるための手立て —肯定的な振り返り活動を通して—

東京学芸大学教職大学院同窓会活動報告

1. 総会

設立総会（第1回定期総会）2015（平成27）年2月22日（日）

同窓会設立準備会長（成田喜一郎）、同副会長（永田繁雄）、作業部会長（近藤精一）、
作業部会学生委員（浦瀬慎也 杉本龍 宮内瞳 矢口弘士 伊東浩明 黄俐嘉
小林友加里 杉本真澄）の皆さんによって準備が行われた。

第2回定期総会・講演会 2016（平成28）年2月21日（日）

〈議長 川元泰史（1期） 書記 高道有美子（1期）〉

講演 小林正幸先生 「臨床の場に現れる今の子どもを理解する」

第3回定期総会・講演会 2017（平成29）年2月19日（日）

〈議長 瀧口信晴（1期） 書記 横澤康子（1期）〉

講演 佐藤郡衛先生（目白大学）

「グローバル時代の学校教育の課題～教員養成と関連づけて」

第4回定期総会・講演会 2018（平成30）年2月18日（日）

〈議長 滋野卓也（3期） 書記 矢口弘士（6期）〉

講演 三石初雄先生（帝京大学教職大学院）「教職大学院での教師教育を考える」

第5回定期総会・記念企画 2019（平成31）年2月17日（日）

〈議長 森口美佳（4期） 書記 根岸陽月（7期）〉

10周年記念企画『教職大学院10年を振り返って』

10周年記念ラウンドテーブル「子どもを見つめる教師の学び」

2. 会長、幹事長

会 長 金子陽子（1期 2015～2018）鈴木 稔（2期 2019～現在）

幹事長 俵 元希（4期 2015～2016）安東奈々（6期 2017～2018）
小林祐一（2期 2019～現在）

3. 研修会（小金井フォーラム）

第1回小金井フォーラム 2015年7月26日（土）

「通常学級における特別支援教育について」 : 講師 伊藤良子先生

第2回小金井フォーラム 2016年7月23日（土）

「教科化時代の道徳教育をどうすすめるか」 : 講師 永田繁雄先生

第3回小金井フォーラム 2017年8月26日（土）

「人材育成研究の最前線：人材開発7つのポイント」 : 講師 中原淳先生（東京大学）

第4回小金井フォーラム 2018年7月21日（土）

「学校における働き方改革の先にあるもの」 : 講師 妹尾昌俊先生（教育研究家）

第5回小金井フォーラム 2019年7月27日（土）

「カラフルな学校づくり～教職員一人ひとりが輝く『しかけ』とは～」

: 講師 住田昌治先生（横浜市立日枝小学校長）

第5回定期総会における10周年記念ラウンドテーブル 「子どもを見つめる教師の学び」の記録

例年、定期総会では、教職大学院ゆかりの先生（第2回小林正幸、第3回佐藤郡衛、第4回三石初雄の各先生）にご講演いただいて学びの機会としてきました。今回は、教職大学院10周年にあたり、「同窓生が教職大学院での学びを現場での実践にどのように生かしているのか、深めているのか、また新たな問いは何なのか」というようなことを話し合うことができました。研修部で検討し、ラウンドテーブルを行いました。

○**実施内容**：1テーブル3～4人で、話題提供者のテーマに沿って話し合いました。まずは、話題提供者のお話をじっくり「傾聴」し、その後、同じテーブルの方向士で、内容を深めました。最後に、各グループからの報告・ギャラリーウォークを行い、各自リフレクションしました。

○**話題提供者**：

《テーマ》

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ①土屋和弘さん： | 自己肯定感、生活指導 |
| ②鈴木稔さん： | どうする?!学級崩壊 ～リアルともがきと～ |
| ③山岸勘人さん： | 教員同士の協働（学年の連携） |
| ④吉田松寿さん： | 人材育成について |
| ⑤増田謙太郎さん・高橋滯さん： | 体験活動を通じた人間育成 |
| ⑥安東奈々さん： | 教科指導について |
| ⑦紅谷昌元さん： | 理想の学校 |
| ⑧村上聡恵さん： | 校内研究について |
| ⑨糟谷侑里さん・中村朱里さん： | リフレクション |
| ⑩宮崎亜希絵さん： | 学校評価の理想と現実 |



第5回小金井フォーラム夏季研修会の報告

「つながる・つづける学びの世界へようこそ」

日時：2019年7月27日（土）13:30～17:00

場所：東京学芸大学教職大学院 講義室

第I部 講演 「カラフルな学校づくり ～教職員一人ひとりが輝く「しかけ」とは～」

講師 横浜市立日枝小学校 校長 住田昌治先生

1. 元気な学校を増やすために「働き方改革に実感はあるか？」

- ・「働き方改革」が進まないのは

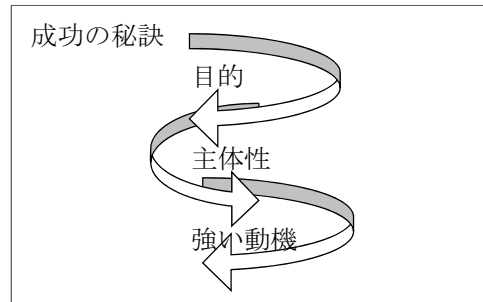
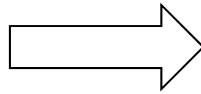
目的がない



主体性につながらない



実感につながらない



それぞれの人の Well - Being を考える必要がある。

これが持続可能な学校につながる。

※世界保健機関（WHO）は1946年、「健康とは、単に病気あるいは虚弱でないというだけでなく、肉体的、精神的、社会的完全に良好な状態（Well-Being）である」と定義しています。

<Well - Being の構成要素>

Work … 仕事、作業

Housing … 住居

Family Life … 家庭生活、安定した家族生活

Social participation … 社会参加

Leisure … レジャー

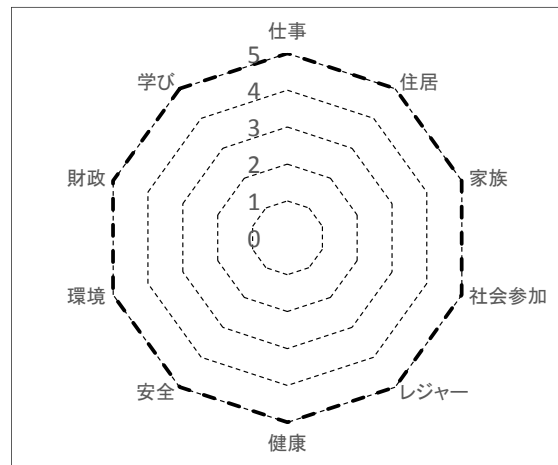
Health … 心身の健康、状態、健康に良い

Security … 安全、無事

Environment … 環境、周囲の状況

Financial … 財務上の、財政上の

Learning … 学ぶこと、知識、学問



あなたの Well-Being は？

2. 苦手なことを得意な人が埋めてくれるような職員集団に。

→これを実現するために大切なのは、職員間の対話をいかに生み出すか。

ストレスにつながらないためにも、言いたいことを言える関係性をつくるリーダーシップが必要。

みんなを幸せにするリーダーシップ（サーバントリーダーシップの考え方）

人のせいにしない。任せる。モチベーションを高める。

いつも笑顔でいる。

※住田先生の校長室で行われている職員のプロジェクトが紹介されました。

3. 新しいことをすることが難しい学校でどうするか？

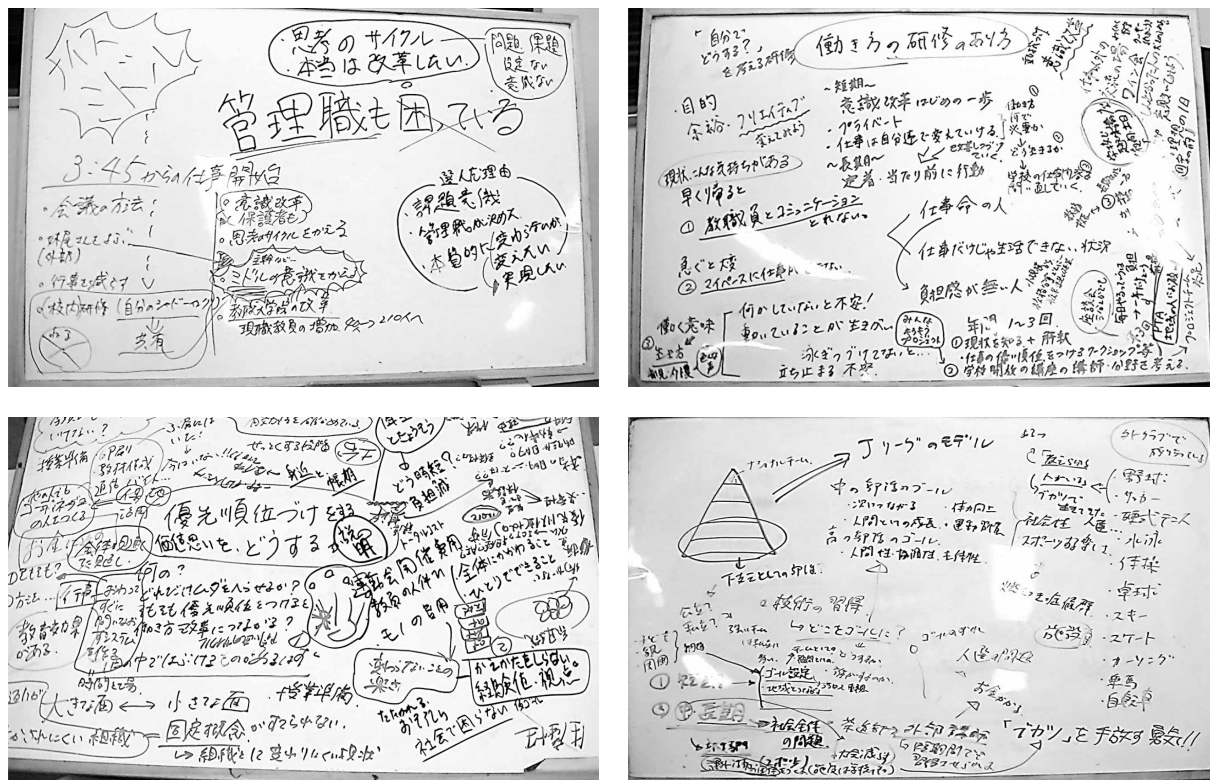
講演会等で聞いたことを自分がコントロールできる範囲でやる→学校で浸透させる

4. 世界の中で見る日本の教育現場。※アンドレアス・シュライヒャー OECD 教育・スキル局長の話を紹介
事務作業が多く、授業準備等の時間が少ない。
もっと子どもや教職員がかかわる時間が大切。

第Ⅱ部 参会者によるワークショップ

「チーム学校」の力を高めるために、自分自身ができることを考える

「カラフルな学校づくりを実現するには？」



9 グループに分かれて行った「カラフルな学校づくり」についての話し合いでは、「部活動を手放す」「会議の方法を見直す」「行事への取組の見直し」等の具体策が出ました。

中でも印象深かったのは、住田先生の講演の中にあった「苦手なことを得意な人が埋めてくれるような職員集団にするには」ということを基にした話し合いでした。

「得意なことが偏っている集団の場合はどうするのか?」「一部のの人に仕事が偏るのではないのか?」「管理職に課題がある場合は?」等、お互いに「あるある」とうなずきながら、具体的な事例を出し合いました。

～第5回小金井フォーラムを終えて～

今年度も修了生だけでなく現役生も参加した小金井フォーラム。働き方改革が進まない要因、教職員一人一人が得意なことを生かしながら、生き生きとカラフルな学校づくりに参画していける秘訣について、校長としての住田先生の実践を交えながら具体的に何うことができました。

「新しいことをすることが難しい学校をどうするか?」という問いについて、「自分ができる範囲でやって、学校に浸透させる」というのはその通りだと思います。ESD やSDGs 等、地球規模で「持続可能な社会の実現」を考える時代が来しました。教育現場でも「持続可能であるのか?」を考えながら、教育の本質を見失うことなく、実践をしていく必要があると考えた会となりました。

(文責：8期 村上聡恵・依田真紀)

東京学芸大学教職大学院年報 第8集

2020（令和2年）年3月19日 発行

発行者：東京学芸大学教職大学院

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

電話 042-329-7707

印刷所：サンプロセス

〒207-0012 東京都東大和市新堀1-1435-29

電話 042-561-8810
